

▲ 石下紫峰だより NO.3

1 学校説明会

平成28年7月23日(土)に第1回学校説明会を本校体育館で開催しました。当日は、16の中学校から142名の中学生(保護者を含めると219名)の参加がありました。

説明会は、開式の言葉、校長挨拶、生徒会長歓迎の言葉、教育内容全般の説明、学校生活の説明、生徒会・部活動紹介と続き、休憩を挟んで、応援団・吹奏楽、ダンス、和太鼓の体験学習発表が行われ、閉会となりました。

校長からは、「本校は普通科単位制高校のアクティブスクールとしての特徴を生かし、他の高校にはない特色ある取組を行っています。是非、本日の説明会を皆さんの進路選択の材料にいただければと思います。」との挨拶がありました。

教育活動全般の説明では、本校の歴史とともに本校で展開されている少人数・習熟度別授業の内容と約50の多種多様な自由選択科目の設置及びその自由選択科目の多くで大学及び専門学校等から専門の講師を招いていることの話がありました。

また、本校の特色として、ホームルーム二人担任制を実施し、生徒へのきめ細かな指導を行っていることの説明もありました。

体験学習発表では、応援団と吹奏楽が一体となった校歌やコンバットマーチ、第2応援歌の演奏、吹奏楽による「となりのトトロコレクション」のメドレー披露、ダンス選択者の切れのあるパフォーマンス、体育館に響き渡る和太鼓の発表が行われました。

生徒たちは額に汗をかきながら、日頃の成果を一生懸命に発表していました。



(教育内容全般説明の様子)



(吹奏楽の演奏)



(体験・和太鼓の発表)

2 美容ボランティア

平成28年7月26日(火)に美容研究(自由選択科目)を選択している生徒が夏休みを利用して、「JA常総デイサービスセンターひまわり」で、ネイルとハンドマッサージのボランティア活動を行いました。

当日、生徒たちは、お年寄りのみなさんとコミュニケーションを取りながら楽しい時間を過ごしました。生徒にとって貴重な体験となりました。

3 高大連携プロジェクト2016

平成28年8月8日(月)、9日(火)、10日(水)の3日間にわたり、常総市主催による「ワカモノ目線*ジモト目線からの復興プロジェクト」に、本校生徒15名が参加しました。

このプロジェクトは、筑波大学、常総市、地元高等学校(水海道一高、水海道二高及び本校)の三者が連携し、ワカモノ目線、ジモト目線から復興プランを考える企画です。

各校生徒15名は、筑波大学の職員、学生の支援の下、8グループに分かれ、「自然・歴史・文化による活性化プラン」、「安全・安心の地域づくり」、常総市の資源をPRして市のイメージアップにつなげる「戦略的ブランディング計画」、「若い世代の心をつかむまちづくり」の4つのテーマに沿って、復興プランを作成しました。

8月8日(月)は筑波大学において、生徒たちの様々な意見をKJ法を用いて集約するとともに常総市内の現地調査を実施しました。8月9日(火)は常総市役所において、地域経済分析システム(RE S A S)を用い、各テーマごとに現状に対する課題解決プランの作成を行いました。8月10日(水)は常総市役所において、プレゼン資料作成後、常総市から神達岳志市長、塩畑実副市長、山口大教育長、筑波大学から伊藤眞副学長、大澤義明社会学域教授、風間宏章社会連携課長、県から小林一洋土木部都市計画課長、横田和巳高校教育課長、井坂孝高校教育課指導担当課長補佐、金井准子元チューリップテレビアナウンサーの参列の中、各グループの発表が行われました。

どのグループとも発表内容は素晴らしく、今まで気付くことがなかった視点からのプランがあるとの講評をいただいていた。

生徒にとって、三つの高校が一緒になり共に地域の復興を考えるこの体験は、何物にも代えがたい貴重な体験となっているようでした。

なお、この発表は、平成28年9月10日(土)に地域交流センターで行われる「常総市復興祈念まちづくりシンポジウム2016」でも、ワカモノ目線、ジモト目線からのまちづくりとして提案いたします。



(本校での事前説明会(7月15日))



(筑波大学でのワークショップ)



(解決プランのアイデア作成)



(発表会での発表の様子)

